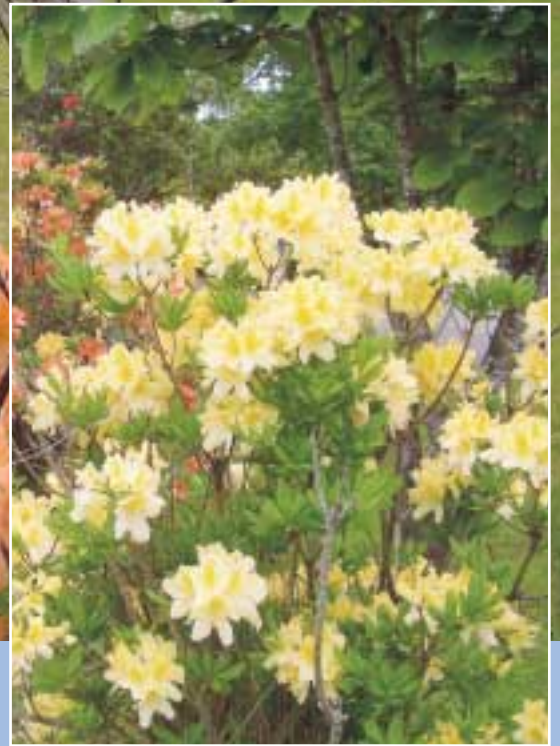


# なかしべつ

## 議会だより



活力みなぎる緑の郷土 なかしべつ



咲きほこるレンゲツツジ(中標津中学校校門前)

- 運動公園第1球技場供用開始 ②
- 一般行政報告・教育行政報告 ③
- 一般質問に4人で6問 ④~⑦
- 第4回臨時会で議決 ⑦
- 6月定例会・6月補正ほか議決 ⑧
- 町村議長会主催 議員研修及び単独視察 ⑩~⑪
- 北方領土ピザなし交流に参加して ⑫
- 閉会中の常任委員会活動レポート ⑬

平成19年7月

No.74



# 中標津町運動公園 第1球技場供用開始!!

## ラグビー日本代表・日体大ラグビー部が合宿

6月24日(日)町運動公園第1球技場供用開始に伴い青空の下記念式が行われました。

式典は来賓によるテープカットが行われ、副町長、文教厚生常任委員長が挨拶をしました。式典終了後、記念事業として少年サッカー教室等が開催されました。

今後、記念事業として8月5日(日)ラグビーの記念試合が予定されています。

また、ラグビー日本代表、日本体育大学ラグビー部の合宿が行われることになっています。



キックイン式で球技場オープン

町運動公園は、中標津町運動公園整備事業として平成14年度より着工され、15年12月に供用開始のスピードスケート場、アイスホッケー場、管理棟はすでに使用されています。今後、第2球技場が

20年6月供用開始予定、少年野球場兼ソフトボール場(2面)が20年度完成予定となっています。

町運動公園は、町民みなさまの財産です。使用マナーを守り大事に使用していきたいものです。





## 一般行政報告

### 寄贈金品について

町に対し、現金で3件160万円、社会福祉協議会に対しても現金で24件66万円の善意が寄せられました。

### 作況状況及び公共牧場、各牧野の入牧状況について

6月1日に根室農業改良普及センター北根室支所の調査によりますと牧草は平年に比べ1日遅く、馬鈴しょは6日



入牧風景

遅れ、てん菜は3日遅れ、大根の播種及びプロッコリーの移植は平年より遅れている状況です。

町営の開陽牧場へは77頭の入牧が終了し追加60頭程の入牧を予定、大規模草地B団地は50頭の入牧を終了しました。

### 第59回北海道植樹祭の予定地内定について

この植樹祭の開催地は、根室・釧路圏域の順番となっており本町と弟子屈町が開催を希望し、中標津町が内定しました。

集客見込数は、15000人の見込、植栽本数は14000本を予定。

### 平成19年度建設工事等の発注状況について

平成19年6月6日現在、件数で73件、金額で10億402万円、計画に対して率にして51%、金額は52%の発注となっております。

## 教育行政報告

### 平成19年度町立学校学級編成について

小中学校児童・生徒合計で前年度対比19人減の2千298人、普通学級数では、前年度2学級減の93学級、特別支援学級では前年度対比3学級増の30学級となっております。

### 平成19年3月卒業の中学生・高校生の進路状況について

町立中学校の卒業生は247人で、このうち高校進学は244人で、進学率は98.8%で全道、全国平均を上回っております。

高校生の進路状況は、進学・就職を合わせて100%となっております。

### 各種大会出場結果について

中標津中学校吹奏楽部サックスパートの女子3人が第38

本的学力の定着を高めるために積極的な指導を図っております。

### 道教育委員会のいじめに関する実態等調査について

平成18年4月から12月までの調査で、今もいじめられているかとの設問では、小学校で8.7%の135人、中学校で2.8%の21人が「いじめられている」と回答、内容は「悪口を言われた」が最も多く、他に「叩かれた、蹴られた、仲間はずれにされた、無視された、人がいやがることをさせられた」と回答しています。

「誰にいじめられたか」との設問では「同級生」が最も多く、今後いじめの未然防止、早期発見、早期対応に適切で迅速な対応に努めてまいります。

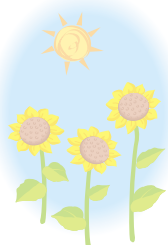


第30回 全日本アンサンブルコンテスト  
日時：2007年2月21日 会場：横浜みなとみホール

北海道アンサンブルコンクール中学校の部で金賞を受賞し、北海道代表として出場し横浜市で開催された第30回全日本アンサンブルコンテストで銀賞を受賞しました。

### 小中学校の学力調査結果とその活用について

昨年の11月から12月にかけて、小学校は、第5学年、中学校は第2学年を対象に実施し、結果、全体的には全国平均を若干上回っており、今後この結果を基に、基礎的、基



# 一般質問

# 町政を問う



6月定例会は4人の議員が6問の質問をしました。  
理事者から、それぞれ答弁がありましたので要約し掲載いたします。

## 特別職等の「天下り規制内規」の策定を

柴野忠征 議員

法改正の成り行きをみながら

町 長

### 質問

国、地方を問わず退職後の「天下り」について連日報道され、町でも特別職・管理職を対象に「天下り規制内規」の策定が必要ではないでしょうか。

町が支出している「交付金・補助金・委託料」の対象は47団体程度で既に数人の職員が再就職しています。

定年後の年金受給が先延ばしの現在では、ある程度止むを得

ない事情もあるが就職難の時代に町民感情として批判の目が向けられるのは当然であり、これらの状況を総合的に判断し、町民への説明責任が果たせるよう町として「きまり」を策定する考えはないか。

### 町長答弁

退職者（特別職・管理職）の再就職状況は、中標津都市施設管理センターに2人、中標津町

社会福祉協議会・中標津町文化スポーツ振興財団に各1人が勤務していますが、町からの斡旋による再就職ではありません。厳しい経済状況の中、雇用情勢も厳しい環境におかれていることは承知しております。

「天下り規制内規」策定をとることでありますが、国家公務員・地方公務員の再就職管理の適正に向け、国家公務員法・地方公務員法の改正で論議され、その概要は、再就職斡旋の規制・現職職員による求職活動の規制、退職職員による現職職員への働きかけ等に対する規制

### 罰則の整備 監視体制の整備

町としては法改正の成り行きをみながら退職職員の再就職に関し適正な措置を講じて参りたいと考えております。



総合福祉センタープラット

## 地方の医師不足について

飯島佐市 議員

### 医師確保を国、道に要請

町 長

#### 質問

管内の現状も医師臨床研修制度で、多くの新人は2年間、都市部・有力病院を研修先とし、出身大学に戻らないため派遣がなくなっています。

管内4町の副町長・職員・保健所による管内の医療体制を整備することを目的に「根室北部地域医療体制推進協議会」を設立し、協議を重ねてきました。

この協議会を尊重し、4町の「首長が共通の認識で」医師不足の解消のため、国に対し「へき地や医師不足地域での勤務を義務化に」を要請すべきと思います。

また、管内は広大な面積で事故・救急患者・災害等のため、ドクターヘリの配備を国・道に要請すべきと思います。



ドクターヘリ配備を

#### 町長答弁

町立病院は診療体制が14診療科の内10診療科は、北大、旭川

## 地球温暖化対策ローカルアジェンダ21のその後について

松村康弘 議員

### 削減計画策定に向け取り組みます

町 長

#### 質問

温室効果ガス削減市町村計画を全ての自治体は策定することになっているのですが、5月21日の新聞では当町も未策定とのことですが、過去にローカルアジェンダ21という名称で早期の策定を促してきましたが、進行状況はどのようになっているのでしょうか。

過去の質問で、現状の町内、庁舎内の化石燃料消費量の調査

はすぐできるはずだと申し上げ、実行する旨の解答をいただいたが、調査は進んでいるのでしょうか。

#### 町長答弁

地球温暖化対策については、環境基本条例や基本計画の中で(体系的に)対応しようという事で今日まで具体化させてはいませんが、平成18年度における役場内や公営企業の消費量の調

査は完了しており、今後削減計画策定に向け、具体的な取り組みを進めます。

また、環境基本条例についてパートナーシップを進めるまちづくりの観点から検討委員会を組織して議論の結果を議会に提案して参ります。

具体的実行計画の策定には庁内プロジェクトを想定して対応して参ります。

#### 再質問

この計画は本来体系的に定めるべきものであるが緊急性に鑑み、町民と共に走りながら、できるものから実行して条文化し

ていくべきではないか。

#### 再質問答弁

町民・事業者が今できることを主体的に取り組んで行政に提起していただくことについても積極的に対応して参ります。



駐車中はアイドリング停止



「がんばる自治体」応募を可能とする体制について

松村康弘 議員

10のプロシエクトを応募

町 長

質問

平成19年度町長施政方針の中に「身の丈に合った」という表現がありました。この意味を解説していただきたい。

問題提起したいのは予算規模のことではなく、求められるのは思想であり、こだわりであり、行動であり、組織形成であり、ます。

町のさまざまな施策は十分「頑張る地方応援プログラム」に

認定されるだけのものを持っていると思えるのに、なぜ、これらの施策を貫く背骨の物語を発信して、庁舎内の人心を結集させないのでしょうか。

例えば「地球が丸く見える」というキャッチコピーは時代を先取りする地球環境首都を標榜するオンリーワンの提案を可能にすると思いますが、考えをお聞かせください。

近未来に予想される大動物・畜畜に対する獣医師不足対策について

松村康弘 議員

整合性を図りながら獣医師確保

町 長

質問

町内で開催されたシンポジウムで近い将来、基幹産業である酪農の牛を診療する獣医師が不足する可能性があるようですが、大学の獣医学科に女学生が多数応募し、さらに診療対象がペットや野生動物に人気が集まり、体力を必要とする、大動物や家畜の獣医師が急激に減少していくだろうと予想されています。提案ですが、人間の医師にも

医大に地方枠をとという議論の始まる昨今です。獣医師についても、大動物・家畜専科を設け、さらに中標津農業高等学校に推薦枠を与えるというような施策を念頭にさまざまな要請活動の際に織り込んでみてはいかがでしょうか。

町長答弁

町内の牛の頭数は4万1300頭で、18年度、根室地区農業



地球が丸くみえる開陽台

町長答弁

必要な施策は確実に実施する事を冒頭に掲げた上で、今日、自治体も破綻するような状況の

共済組合調べによると疾病発生件数は3万8702件となっており、それを19人の獣医師で対応しておりますが、農水省や関係機関など、今後そう遠くない将来において、現状のまま推移していくと指摘の可能性はあるそうです。

今から対策を、近隣の自治体や、道・北海道農業共済組合連合会などが現在行なっている獣医師確保対策との整合性を図りながら検討してまいります。

中標津農業高等学校に推薦枠をとという提案はかなり厳しいと認識はいたしますが、機会ある



大型動物対応の手術台

ことに学校長を始めとして、大学と意見交換を考えてまいります。

中では背伸びせず、身の丈にあった行政運営を目指すとして基本的な考えを申し上げていますが、効果が確実ではない過大な投資を甘い見通しの下に行い、財政を悪化させたり、将来に多額の負債を残さないように町民と協力し、持続可能な行政運営を行う決意を示しております。

当町としても「頑張る地方応援プログラム」に「少子化対策」「定住促進」「環境保全」などのプロジェクトを第一次募集に応募して町のHPにも公開しており、6月下旬に国はHP上で結果公表をするとしています。

# 第4回臨時会

(平成19年4月23日開催)

中標津町町税条例の一部を改正する条例  
 国保加入世帯の所得に応じて徴収する国保税(保険料)の割賦税限度額について53万円から56万円に引き上げとなりました。

中標津町都市計画税条例の一部を改正する条例  
 地方税法の一部改正による削除された条項により条項の繰上げ条文の整理  
 地方税法の一部改正による

追加された条項による条文の改正  
 中標津町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
 基礎課税額の合算額が53万円をこえる場合は基礎課税額53万円を56万円に改正  
 国民健康保険額の当該減額して得た額が53万円を超える場合には53万円をそれぞれ56万円に改正

## リハビリ打ち切りと対応について

関係機関と連携を図り対応

町 長 石井初義 議員



### 質問

昨年の診療報酬改定により、リハビリが疾患に応じ90日、150日、180日に日数が制限され、その結果機能が低下したり状態が悪化したという例もきかれ、こうした対象患者は何人いるのか  
 また介護リハビリに移行するにも専門スタッフや設備が整っていないのが現状ではないのか

### 町長答弁

除外規定があるが医師が「改善可能」とする判断基準の根拠は何か。  
 町立病院では昨年度で該当患者は73人であり、そのうち27人がリハビリを終了している。  
 現状では訓練時間の上限があり全ての患者を受け入れるのは難しい。  
 介護リハビリでは受皿は町内一ヶ所で利用定員は一日20人で

ある。  
 実績では町内41件、町外2件であり、町立病院の訪問リハビリは13件、予防リハビリは1件となっている。  
 今後の対応としては要介護、要支援の中でリハビリについては日常生活の活動性と身体機能の向上をもって自立を促し居宅介護支援事業や関係機関と連携を図りながら対応していきたい。

## 植樹祭

中標津町・根釧東部森林管理署共催の平成19年度植樹祭が5月24日、旧開陽牧場跡地で実施されました。  
 参加者は議会から10人、地元開陽小学校、養老牛小学校グリーンクラブ、広陵中学校、中標津農業高校、林業関係者、町内の事業所など総勢160人が集り町長あいさつの後、植樹の handed 受けシラカバ苗木2000本を植樹しました。  
 時おり霧雨が降る肌寒いあいにくの天候でありましたが、一本、二本

と植樹するうちにほど好い暖かさとなり参加された皆さんが地球温暖化阻止、自然を大切にする心や緑豊かな大地を育てる思いを込めて植樹を終えました。  
 参加の皆さんも皆さまでした。



# 6月定例会で決まりました

平成19年6月18日から22日まで開催し、議決された主なものをお知らせします。

## 6月補正額

一般会計（専決処分承認）は744万円を追加し、113億3544万円となりました。  
 一般会計は2749万円を追加し、113億6294万円となりました。

国民健康保険事業特別会計は248万円を追加し26億7050万円となりました。

老人保健特別会計は478万円を追加し15億2858万円となりました。

## 報告承認

平成18年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

平成18年度介護保険事業特別会計繰越明許費計算書の報告

## 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定、変更

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づき、協和辺地、上標津辺地に道路・橋梁等の公共施設の総合整備計画の策定、武佐辺地、養老牛辺地には道路・農道等について公共的施設の総合整備計画を変更するとします。

## 報告

中標津町土地開発公社の経営状況の報告を承認しました。

町道路線の認定及び廃止

平成19年6月22日をもって認定されるのは2路線、廃止されるのは3路線となっています。

北海道後期高齢者医療広域連合議員の選挙

北海道後期高齢者医療広域連合議員（町村議会議員分）を選挙しました。

## 工事請負契約の締結

中標津下水道終末処理場汚泥処理施設機械更新工事  
 契約金2億8169万円  
 工期平成20年11月28日まで

中標津下水道終末処理場汚泥処理施設電気更新工事  
 契約金7507万円  
 工期平成20年11月28日まで

以上2件の契約の締結を議決しました。



下水道終末処理場施設



東小学校屋根体工事現場



## 意見書

2008年度国家予算編成における義務教育無償、義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率1・2復元等教育予算の拡充を求める意見書

提出者 佐藤 武志 議員

教育の機会均等と義務教育無償の原則は、憲法26条で定められており、全国のどの地域においても、全ての子どもたちに無償で一定水準の教育機会を保障するため、義務教育費国庫負担制度が設けられています。

しかし、義務教育費国庫負担金の負担割合が1・2から1・3に縮小されたことや、厳しい地方財政の状況などから、教育条件の地域格差も広がっています。

次の事項を強く要望します。

- 一、義務教育費国庫負担制度の堅持、負担率1・2復元化。
- 二、30人以下学級の早期実現、教職員定数改善計画の実現。
- 三、学校施設整備費、就学援助・奨学金、教材費など教育予算充実のため、交付税を含む国の予算を拡充すること。

道立高校再編成にかかる意見書

提出者 高田 重樹 議員

北海道は景気回復が遅れており、厳しい財政状況におかれています。

このような中、教育をめぐる状況として、昨年8月に道教委が策定した「新たな高校教育に関する指針」の中で、「第1学年3間口以下の高

校は近隣高との再編」「第1学年2学級以下は、順次、再編整備」「特例2間口校の廃止」など、地方の小規模校をなくすことを前提としたものとなっています。

これでは、教育の地方間格差が増大します。次の事項を強く要望します。

- 一、高校の適正配置計画は、機械的に高校の統廃合を進めず、地方の声を十分に反映したものとすること。
- 二、地元の子どもたちが、地元の高校へ進学できるように特定2間口を今後も継続すること。

新たな「地方公共団体財政健全化法」に関する意見書

提出者 柴野 忠征 議員

「地方財政再建促進特別措置法」に代わり「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が国会で審議されている。

この法律は自治体財政の健全性に関する比率を公表し、健全化計画を策定する制度を定めるもので、地方公共団体が毎年度「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」を議会に報告、公表するとしている。

しかし、連結赤字比率の算定では、一般会計の他に国民健康保険会計や介護保険会計などの特別会計、病院事業会計などの公営企業会計の赤字額も算入される。

次の事項を強く要望します。  
一、病院事業会計などは恒常的に赤字状態が続いている。政府は、財政措置の拡充、医師確保対策を十分に図ること。

二、国保会計や下水道会計は地方自治体の現状を十分に考慮すること。

三、将来負担比率に算入される退職手当については、算入の際は慎重に考慮すること。

四、地方交付税制度を堅持し交付税総額の安定の確保を図ること。

道路整備に関する意見書

提出者 平川 武雄 議員

道路は道民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的なインフラであり、中長期的な視野に立ち体系的、計画的に推進されるべきものである。しかし、北海道の道路整備は大きく立ち後れており、特に冬期間の交通障害などを解消し、「活力ある地域づくり」や「安全で快適な生活づくり」を支援する上でより一層重要となっている。

次の事項を強く要望します。

- 一、道路整備を計画的、着実に進めるため必要な財源を確保すること。
- 二、中期計画を作成するため地域間格差への対応、安全・安心の確保、道民のニーズを幅広くみ取ること。
- 三、高規格幹線道路について、現在事業中の区間の早期の供用、「当面着工しない」とされた区間の早期の事業化。
- 四、適時適切な修繕等による効率的な道路ストック管理。
- 五、地域高規格道路釧路・中標津道路を利用する第三次医療圏への患者搬送、通院が日常化している現状から早期完成に必要な予算確保をすること。

## 北海道町村議会議員

# 研修会の報告

平成19年7月3日に町村議会議員研修会が、札幌コンベンションセンターで行われ、参加者は全道から約2000人中、中標津町議会からは23人全員の参加となりました。

これまでは道央・道北・道東の3ヶ所で開催されていましたが、昨今の議員削減や市町村合併により、議員定数が減ったためにこのような開催方法となり、2人の講師により、研修が進められました。

さわやか福祉財団理事長

堀田 力氏による講演「町村議員に期待する」

では、今、日本語を正しく話せない人が多く、世の中が変になって来ている。国も地方もお金が無い、その様な状況下では、住民の皆さんに力を借りるしかない。

一つとして、子どもたちを町づくりに参加さ



熱弁をふるう堀田先生

せる方法で例えば、高齢者や障害を持つ方々にとつての住みよい町づくりを考えさせたり、問題提起をさせて、行政はそれについて検討、実行する。子どもたちは、皆で考えたことが町に役立つことなんだと実感するだろう。

二つ目としては、定年退職者も多くなり、ボランティア活動を行える人が増えているのでいろいろな分野で活動してもらつ場を作るべきでしょう。

三つ目は、議会が旗振り役

を行い、知恵を出しながら住民に接し、行政に対してより良い方法を提案してどう生かして行くか、また、住民からの意見に對し必ず返事をすることが大事であるとの講演でした。

東京大学名誉教授 大森 彌氏の講演「分権時代の基礎自治体とその議会」では、国は

道州制を進めてい

るがその前段で市町村合併を行い、全国一律の同じ自治体を作る考えのようだ。

しかし、都市と農山村を同じにしたら、農山村は成り立たなくなる。

また、道州制にすると人口が一極集中と言われているが東京には1000万人、神奈川県には700万人、千葉には600万人も住んでいるので道州制はなじまない。

今、政府は第29次地方制度調査会を発足させたが、これ



講演会場での議員団

はあと3年で終わる合併新法の執行後から適用される法案づくりで、第27次地方制度調査会が出した西尾私案が基礎となり小規模町村は「地方自治体」として存続を認めるが、窓口サービス等の一部の事務だけにするなどあります。ここ、2・3年で色々な動きが出てくるので、議会も中央の動きに注目するべきとの講演でした。



# 道内視察報告

先進地視察が7月3日から4日まで、札幌を中心に実施しましたので報告いたします。

## 北海道開拓の村 (札幌市厚別区)

北海道百年記念事業の一つとして設置、開拓の過程における生活・産業・経済・文化の歴史を示す建造物等を移設・復元して保存し、開拓当時の情景を再現・展示し、恵まれた自然に親しみながら新しい北海道を創る心を養う場として役割を果たしています。



北海道開拓村の歴史的建物

明治・大正の建造物を保存展示し後世に伝える開拓の村歴史を体験的に学ぶ野外博物館として1983年4月にオープンし54haの風景の美しい

丘陵地は、市街地・漁村・農村・山村に分かれ63棟の建物が再現され楽しみながら体験でき、さまざまなイベントが催されています。

開拓当時は物資もとほしく物を大切にしていました。現在は物資が豊富であり、我々はじめ物を大切にすることが失われてきています。いまが大切さを見習う時ではないでしょうか。

## まちむら農場(江別市)

株式会社町村農場は大正6年に創業され、所有面積は165haです。また経産牛は200頭を有し年間搾乳量は約2000t(内6割が自社ブランド)事業として乳製品販売等を行っています。

農場の環境対策としてはバイオガスプラント方式を採用しています。  
スラリー方式で糞尿を混ぜ、処理し肥料として耕地に散布すると、特異な臭気が残る散布時にはクレームが有ったこ

とから、発酵により脱臭する設備の導入を検討し発電まで可能なバイオガスプラントを平成11年導入した。



バイオプラントの説明

バイオプラントは排出された糞尿等を原尿槽に貯留され油圧ポンプで自動的に発酵槽へ搬出し密閉され、37度に保たれたメタン発酵によりタンパク質、脂肪、炭水化物の分解が進みガスは一日約500〜600立方mが発生します。そのうちの60%がメタンガスです。それを風船のように収縮するガスホルダーに収容する。一日22時間自動運転し発電機容量は65立方mで発電量は1200〜1300立方mで乳製品部門を含む約6割のコスト削減となる。  
中標津町も飛行場の問題等があり、臭気対策・堆肥などの有効利用について考えさせられました。

## えこりん村(恵庭市)

恵み野地区の街の美しさにほれ込み、ハンバーグチェーン店を展開しているアレフは15億円を投じ38haの敷地内に2006年6月、庭園やレストランを配しオープンした。環境・農業・文化への取り組みの成果を総合し、さまざまな展示や企画を行って、初年度は約42万人が来訪してくれたそうです。



生ゴミで作られる有機肥料

また「花の牧場」「天満食堂」「銀河庭園」「らくだ軒」とそれぞれ特徴を生かした経営を営み、食堂から出る生ゴミは、処理機で発酵・乾燥し有機肥料とし畑に還元し、銀河庭園では花に関連する資材の一切を仕入販売しています。  
我が町も発想を変え、考えも新たに観光的な分野で農業・産業・企業など参考にすべきではないでしょうか。

## 恵み野地区(恵庭市)

1998年ガーデニング関連の約15団体の横断組織として恵庭市花の町づくり推進会議が発足、コンテストや写真展を開くほか、花ガイド・観光ツアーの実施、ガーデニング普及により経済効果も出始め、市を訪れた観光客は2006年度に約97万人と前年比倍増となったそうです。

まちぐるみでガーデニングに取り組み、全国的にも有名になった恵み野地区、「花のまち」で今年も住民の自慢の庭を公開するオープンングガーデンをはじめ、さまざまなイベントが始まった。町中の広い空き地を花園に変える「いこいの花畑」の活動は4年目を迎えて、市民の称賛と励ましを受けながら整備に汗を流していました。



家をかざるガーデニング

# ビザなし交流(色丹島)に参加して

「本音が出せないもどかしさ」

熊倉重樹 議員

5月25日～28日の4日間、北方四島交流事業のビザなし交流で色丹島を訪問してきましたので、報告いたします。

異常な寒さと悪天候、そして船の設備の悪さ以外は、順調に日程を消化し温かい歓迎を受けました。

特に昨年完成した小中学校では、こどもたちから花のプレゼントで迎えられ、11年生の民族舞踊や、4～5年生の



雨降る斜古丹の風景

日本語の歌など、大変な歓迎ぶりでした。



ホームビジット(昼食をいただいて交流)

相互理解を深めるための、対話集会ではテーマとして「共住に伴う問題点」と「目指すべき島のかたち」を挙げましたが、「共住」の話題ばかりとなり、ロシア側島民からは「一緒に住むことに何の問題もない、むしろ歓迎する」との意見が相次ぎました。しかし、日本側から領土の帰属後の話であることの説明がないままの意見であり、相互

理解が進んだとは言え、鵜呑みにできない話し合いでした。島の生活は改善されたと言われているますが、大きな水産加工場の汚水処理施設や集会場・学校・一般家庭の水洗トイレなど、処理場は見当たりません。

島には二つの村があり、それぞれ「アナマ」と「斜古丹」の湾に面しています。そして二ヶ所のごみ捨て場がありませんが、覆土されておらず、あたり一面ごみが散乱していました。

東方沖地震の被害の復旧は、



アナマ湾に上陸

まだまだのようつて廃家が目立ち、津波の心配からか、住宅は高台に二～三階建のアパート風の建物がたくさんありました。外観は古いが内部は、クロスやペンキで驚くほどきれいでした。

過去15年間ビザなし交流が行われてきましたが、北方領土問題解決の環境整備の一環としては良くても、まだまだ本音で話しが出来ないもどかしさも感じたビザなし交流でした。

## 管内4町議会親睦パークゴルフ大会

中標津惜しくも準優勝三連覇ならず

さる6月8日管内4町の議会議員親睦パークゴルフ大会が別海町で開催されました。

4町の議員が一同に会して行われる唯一のスポーツ大会であります。

毎年各町持ちまわりで実施されており、今年も別海町で開かれ総勢37人(中標津町から10人)の参加がありました。試合前、一昨年、昨年と二連覇しており今年も勝利して三連覇をめざして頑張る決意を全員で確認しました。

結果は健闘むなく準優勝となり三連覇ならず、優勝は別海町、三位中標津町、四位羅臼町となりました。

昼食をさみ表彰式が行われる間を利用し各町のかかえる問題や地域の事情などの情報の交換を行って親睦を深めた一日でありました。





# 常任委員会 活動レポート

議会には4つの常任委員会があります。定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会は、この間を活用し、所管する事項の調査をしています。主な調査事項を報告します。

## 文教厚生 常任委員会

調査内容

- ・教育委員会所管施設現地調査
- ・根室北部広域ごみ処理施設現地調査
- ・町立病院管理運営の事務調査

根室北部広域ごみ処理施設の現地視察を行いました。報告では「日々の業務は順調に推移しているが、

(教育委員会) 東小学校増築事業、広陵中・丸山小・中標津小、町運動公園の現地調査を行いました。運動公園では供用開始の第1球技場、20年完成予定の少年野球場兼ソフトボール場の用地を調査しました。(町民生活部)

また、全国的な医師不足のなかにあつて、本年度の医師確保は院長等の努力もあり、順調に推移しています。

(町立病院) 19年度4月末の患者数診療収入状況について、5月1日現在の外来診療体制(14科で出張医師を除き常勤医師18人)について報告がありました。

## 総務常任 委員会

調査内容

- ・経営再生プログラム実績について
- ・パートナーシップ推進事業について
- ・北方四島ロシア人患者受入れについて
- ・北方領土隣接地域振興協議会について

4年間430項目について検討を行い累積実施効果額は約17億7700万円でした。今後は町新行財政改革、集中改革プランにより、さらなる行政改革を推進したい。

今後、地域整備の方向に係る事業推進にあたり地域段階の連携協議が行われる予定です。

### 行財政改革について 北方領土対策関係について

平成15年度に、町経営再生プログラムを策定し、構造改革・歳出改革・意識改革を重点目標に行財政改革に取り組んできました。

昨年5月に、北方領土隣接地域振興協議会が設置され、協議が進められてきました。その結果が3月に報告書としてまとめられました。

## 建設常任 委員会

調査内容

- ・建設工事の発注状況について
- ・中標津運動公園整備状況について
- ・下水道工事の進捗状況について
- ・中標津東小学校増改築工事の進捗状況について

中標津下水道終末処理場汚泥処理施設機械および電気は昭和61年から供用開始以来21年が経過し汚泥処理工程の消化タンクを廃止し、汚泥脱水機の機械更新を計画し、また処理場施設の老朽度診断調査を実施した結果、たびかさなる修繕による使用にも限度が来ていることから更新されることになりました。

### 中標津下水道終末処理場 汚泥処理施設の更新について

汚泥脱水機等で2億8169万円、脱水機設備コントロールセンター(電気)等で7507万円です。契約し更新されることになったとの報告を受け常任委員会では5月10日に現地調査を行いました。



## 産業常任 委員会

調査内容

- ・TMRセンター現地調査について
- ・JA中標津肉牛生産センター現地調査について
- ・作況状況及び公共牧場入牧状況について
- ・家畜ふん尿臭気対策の取り組みについて

設立の目的は、サイレージ調製の一元化による良質粗飼料の確保と牛群成績の向上、生産資材の共同購入による生産コストの削減・労働時間の短縮や施設、機械の有効利用等々町内においては初めての実業であり購入飼料の高騰等、酪農にとつ

### TMRセンター現地調査・他について

センターは町内豊岡で、総事業費7億4800万円(自己負担金3億6300万円)戸数18戸で平成18年1月に設立されました。飼養頭数は約3100頭(搾乳頭数約1600頭)です。

中標津町農協肉牛生産センターは、当農協管内農家の乳牛を軸とした地域一貫生産体制のため昭和55年に設置された。現在約1470頭を飼養されていて毎年約700頭の出荷計画である。牧草生育はほぼ平年並馬鈴薯は5月2回の降雨により植付作業の遅れで一週間程度の遅れで終了している。てん菜も降雨移植作業の遅れ、低温、日照不足で葉数がやや少なくなっている。

## 平成19年4月から6月までの行事関係

期 日	行 事	出席者	期 日	行 事	出席者
4月2日	辞令交付	議 長		根室北部消防事務組合臨時議会 (中標津町)	議 長 他 関 係 議 員
11日	議会広報特別委員会	5/5		根室北部廃棄物処理広域連合臨時議 会(中標津町)	"
13日	議会広報特別委員会	5/5		中標津町外2町葬斎組合臨時議会 (中標津町)	"
19日	中標津町老人クラブ連合会総会	議 長			
23日	第4回臨時議会	23/23			
5月10日	建設常任委員会	5/5	11日	平成19年度根室地域活性化構想推進 協議会定期総会(根室市)	議 長
11日	根室支庁管内町村議会議長会臨時総 会(標津町)	議長・副議長		平成19年度根室地方総合開発期成会 定期総会(根室市)	"
17日	総務常任委員会	4/5	12日	北海道町村議会議長会第58回定期総 会(札幌市)	議 長
21日~ 24日	全国町村議会議長会研修会(東京都)	副 議 長	14日	議会運営委員会	10/10
22日	文教厚生常任委員会	6/6	18日	6月定例会本会議(1日目)	22/23
23日	全道議長会理事会(札幌市)	議 長	19日	産業常任委員会	6/6
25日~ 28日	北方四島交流訪問(色丹島)	熊 倉 議 員	19日	建設常任委員会	5/5
6月1日	平成19年度北海道横断自動車道釧路・ 根室間建設促進期成会総会(釧路市)	議 長	20日	総務常任委員会	5/5
5日	釧根林活議連役員会(釧路市)	杉 本 議 員	20日	文教厚生常任委員会	6/6
6日	産業常任委員会	6/6	21日	議会運営委員会	10/10
7日	標津・俵橋大規模草地一部事務組合 臨時議会(標津町)	議 長 他 関 係 議 員	22日	6月定例会本会議(2日目)	23/23
	根室北部衛生組合臨時議会(標津町)	"	24日	第58回全国植樹祭(苫小牧市)	議長他2名
			24日	中標津町運動公園第1球技場供用開 始記念式	文教厚生常任 委員会委員長
			29日	議会広報特別委員会	5/5

出席者欄の数字は左側が出席者、右側が定数

### 議会からのお知らせ

# 『議会の傍聴してみませんか』

議場には傍聴席が30席あり、先着順に議会傍聴できます。傍聴者には参考資料を配布し、議会の取り組みが理解できるよう対応しています。多くの方々に傍聴していただきたく、ご案内します。

その他、議会に対する要望などがありましたら、議会事務局に、お申し出ください。

議会だよりに対する  
ご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197

北海道標津郡

中標津町丸山2丁目22番地

中標津町役場

TEL(0153)73-3111

FAX(0153)73-5333

議会事務局にご連絡を...

- ・ホームページは  
<http://www.nakashibetsu.jp>
- ・メールは  
nakasi-t@arens.or.jp

発行 / 中標津町議会

編集 / 中標津町議会広報特別委員会

暑い夏が続くことを願っています。  
2ページで紹介していましたが、緑の芝に覆われた第1球技場がオープンしました。  
今後、ラグビーの記念試合、日体大ラグビー部の合宿練習が行われます。めっ

たにない機会なので、町民の皆さま運動公園に足を運ばれてはいかがでしょう。10ページに掲載していますが、議長会研修会で2人の講師が「議会と議員の役割」、「道州制」、「市町村合併」等を具体的に講演しました。  
私たち議員にとり今日的なテーマであり大変有意義な研修になりました。  
広報特別委員会も7月号で任期の折り返しになりました。今後、皆さまに親しまれる紙面づくりを心がけてまいりますのでよろしくお願ひします。

